

洋一中だより

～笑顔と学びあい～

- 〈知〉 経験を活かし、自主的実践的に問題を解決していく力を育てます
- 〈徳〉 互いの良さを認め合い、人を思いやる態度を育てます
- 〈体〉 自他の生命を大切にす心や健やかな体を育てます
- 〈公〉 よりよい社会を創造しようとする態度を育てます
- 〈開〉 持続可能な社会の実現に向けて行動しようとする態度を育てます

令和3年度 12月・1月号

(令和3年12月1日発行)

横浜市立洋光台第一中学校

校長 仁平 浩史

横浜市磯子区洋光台二丁目5番地1号

電話 833-1270

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/yokodai1>

一歩ずつ日常を取り戻す

校長 仁平 浩史

早いもので、今年も残すところあと1か月となりました。昨年に引き続き今年もまるまる1年間、感染症拡大の影響を受けたものとなりました。その中であっても、体育大会や一中祭、50周年記念式典と、全校で取り組む行事が実施できたことは本当に幸いだったと感じています。また、先日は洋光台第一小学校と洋光台第三小学校の6年生が本校の部活動を体験する児童生徒交流会も実施され、生徒たちも来年度に向けて気持ちが高まったところでした。第6波も想定されているので油断はできませんが、状況が比較的落ち着いているので、少しずつですが本来の教育活動を取り戻していきたいと考えています。



部活動体験の様子

後ほど今年度の全国学力学習状況調査の結果をお知らせしますが、その分析において気になったことがあります。それは、本校の授業における生徒の学習意識調査です。「自分の考えや思いを相手に伝える授業」がされていると感じている生徒が、全国や市の平均より低い傾向にありました。本来本校は「笑顔と学びあい」の学校教育目標のもと、生徒同士や生徒と先生が自分の考えや思いを伝え合って授業を進めていくことを重視してきました。生徒同士が意見をぶつけ合ったり、グループで話し合ったりといった協働的な学びがコロナの影響とはいえ、後退してしまっていることが示唆されています。感染拡大の状況にもよりますが、現在の授業で一番大切にしなければいけないといわれている学びあいについて、改めて本来の姿を追求して、取り組んでいきたいと考えています。

行事については、中止・延期となっております校外への行事について、1年生の校外学習については別日で、また、2年生の自然教室、3年生の修学旅行についてはその代替の行事を計画しております。状況を見ながらにはなりますが、生徒の実行委員会等の活動や事前学習を進めていきたいと思えます。また、12月1日より部活動のガイドラインが改められ、週4日までであった部活動が5日まで可能になり、練習試合等についても県内であれば移動可能となるという連絡が入っています。現在のような短時間で集中して練習に取り組むスタイルも大切にしつつ、必要な場面ではたっぷり時間をかけた練習も取り入れていきたいと思えます。また、まだまだ制約は多いですが、大会等の保護者の方の観戦についても一部緩和されると聞いています。このように少しずつ日常を取り戻し、かけがえのない子どもたちの大切な時間を充実させていきたいと考えています。

お知らせ 学校の近くの洋光台北団地で解体工事が行われるとの連絡がありました。

令和3年11月下旬頃から令和4年8月中旬頃までの予定で、洋光台北団地-3-19号棟（10階建）の解体工事を行います。ご迷惑をお掛けすると思えますが、ご理解とご協力のほど、宜しく申し上げます。



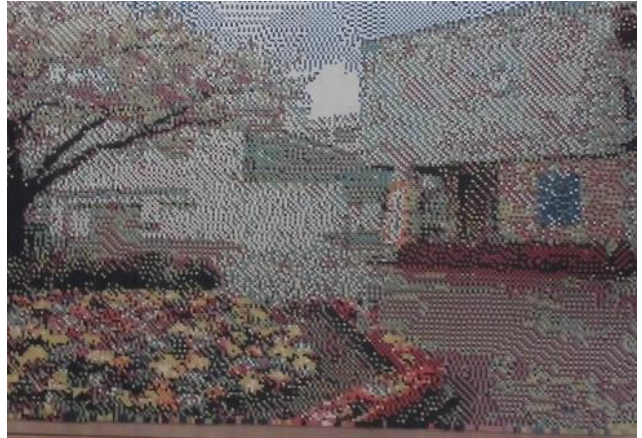
UR 都市機構

50周年記念式典の様子

10月29日5校時 洋光台第一中学校の創立50周年記念式典を行いました。感染拡大防止のため生徒と教職員、保護者の方の代表として出席いただいたPTAの役員の方5名のアットホームな式典となりました。50年を振り返るスライドショー、50周年イメージキャラクターとスローガンの考案者の表彰、新標準服の紹介、記念制作の披露、しだれ梅の記念植樹の様子の紹介など、生徒たちは教室で式典の様子を視聴しました。



保護者代表としてPTA 会長宮下様よりご挨拶をいただきました。



生徒全員で制作したモザイクアートが披露されました。今後体育館に掲示されます。

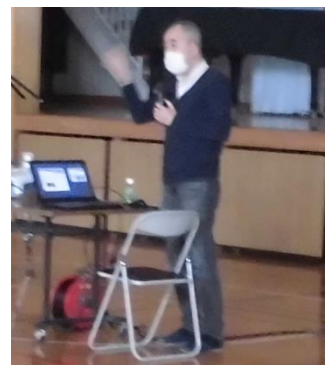


生徒会本部役員が、いろいろなシチュエーションを想定して新標準服を着こなしていました。

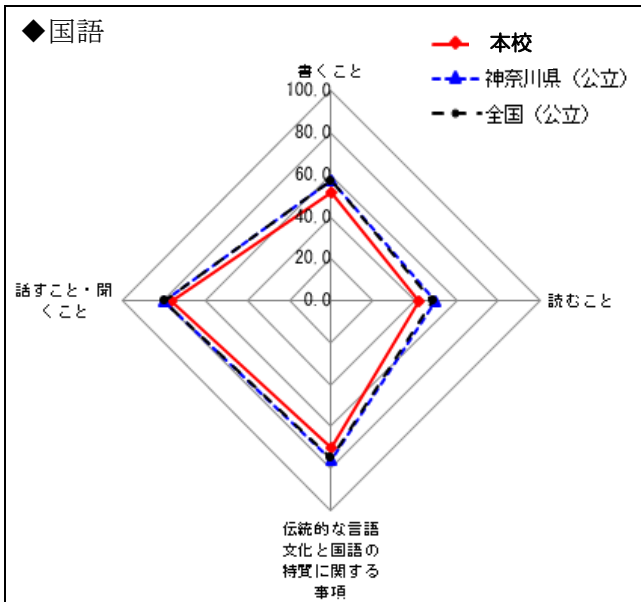
人権講演会

11月12日に、外部より講師として特定非営利活動法人 SHIP の星野慎二様をお招きして人権講演会を行いました。テーマはLGBTQ など性の多様性に関するものでした。生徒の感想より

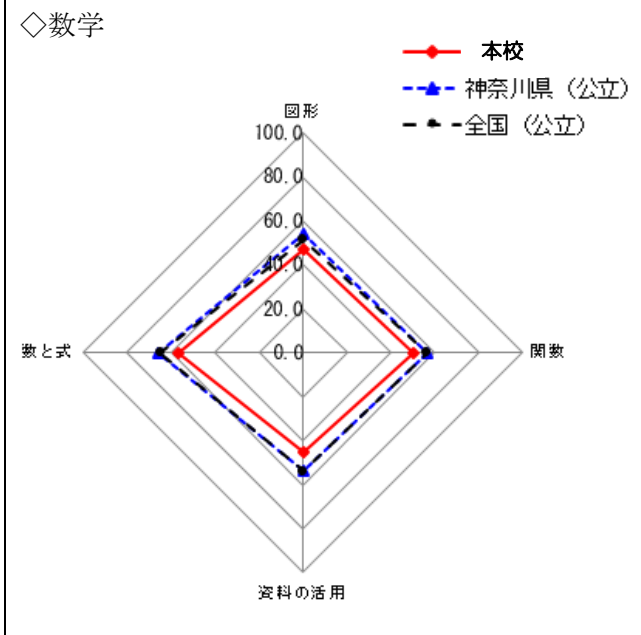
- 講演を聴いているいろいろな人がいることが分かった。言葉の使い方などに注意したいと思った。(1年生)
- 人の数の分だけ、性の種類があることが分かったので、性を決めつけないことが大切だと思いました。「性の多様性」以外でも一人一人の個人の気持ちを考えて生活したいと思いました。(3年生)



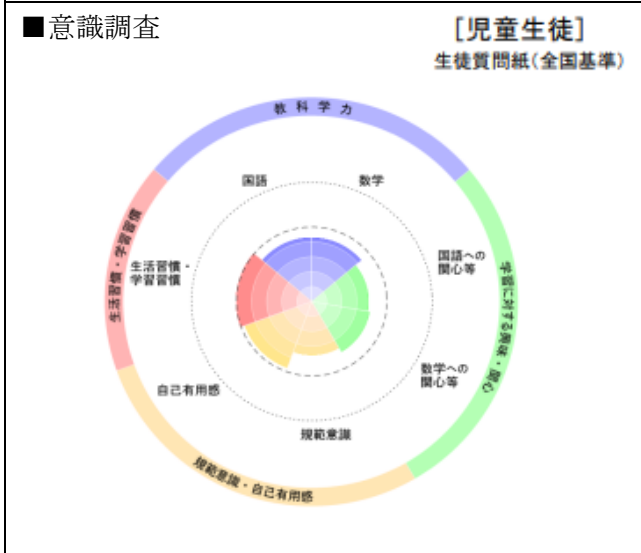
3年生全国学状結果報告 令和3年5月27日に実施された『全国学力・学習状況調査』の結果が届きましたので、考察をあわせてご報告いたします。



◆国語 「話すこと・聞くこと」において、話合いの話題や方向を捉えることや、質問の意図を捉える力が定着した結果でした。「読むこと」においては、文脈の中における語句の意味を理解することや場面の展開・登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解すること、登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することに課題が見られました。「書くこと」においては、文章構成の工夫を考える力に課題がありました。「話すこと・聞くこと」「読むこと」から、特に「相手を理解する」ことに課題が見られます。国語科だけでなく、互いの良さを認め合う道徳心の育成や、学級・学年における仲間とのかかわりあいなど、指導を充実していきたいと思います。



◇数学 全体的に全国や神奈川県の平均を下回っておりましたが、与えられた表やグラフから必要な情報を適切に読み取ることや、錯角が等しくなるための2直線の位置関係を理解していることは、全国の平均に近い値でした。数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することや、データの傾向を的確に捉え判断の理由を数学的な表現を用いて説明することは、正答率が低く、無解答率も高い値でした。具体的な場面で一元一次方程式をつくることや、相対度数の必要性和意味を理解していることは、全国の平均から正答率が低い様子があります。数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を通して、数学的な表現を用いて論理的に説明し、伝え合う活動を積極的に行っていきます。



■意識調査 意識調査を見てみると、国語への関心等や規範意識が低い現状が見られました。国語の質問では、目的に応じて言葉を使ったり、質問したり、話したりといった自分の考えや思いを相手に伝える授業が当てはまっていないとの回答が見られます。また、学級活動や道徳の授業、総合的な学習の時間でも、話し合うことを通じた活動が当てはまっていないとの回答が多くありました。今後は教科指導においても、学級活動、道徳や総合的な学習の時間においても、話し合う活動を多く取り入れ、自分の考えや思い、意見を他者に伝える、働き掛ける授業の展開を工夫していきたいと思います。